

Vol.123

この数字はなんだ？

# ナンバー・ナンダー

ご参考資料

2017年7月31日

米 国

2017年4-6月期

## 実質GDP成長率

(前期比年率、速報値)

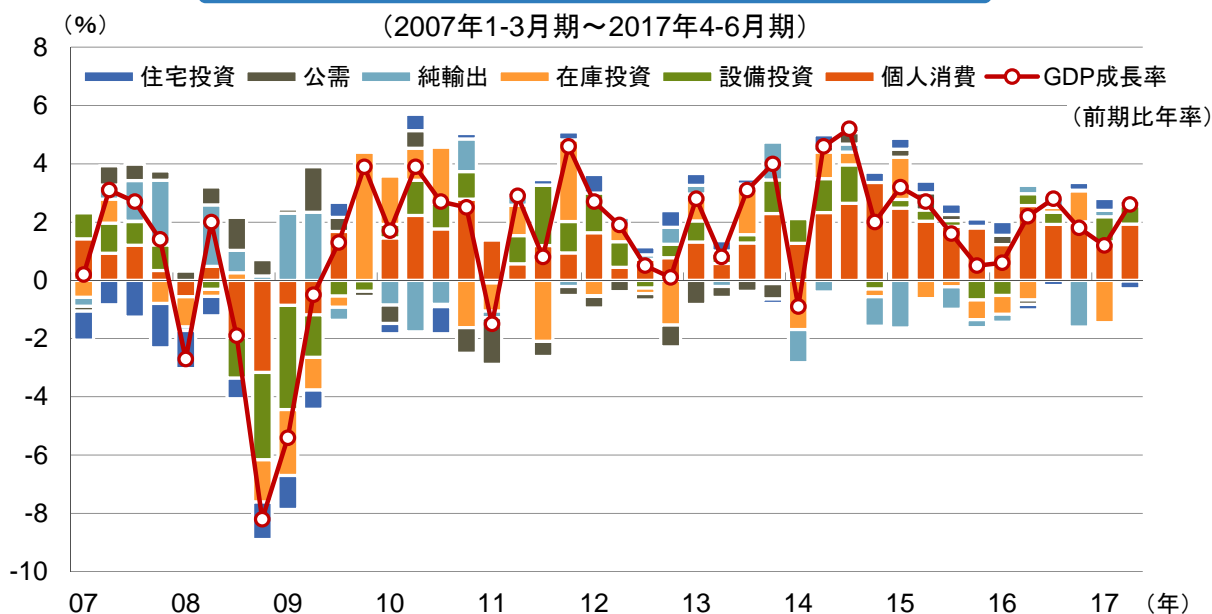
+ 2.6%

米商務省が7月28日に発表した2017年4-6月期の実質GDP(国内総生産)成長率(速報値)は、概ね市場予想通りの前期比年率2.6%増となり、2017年1-3月期の1.2%増から加速しました。13四半期連続のプラス成長となり、引き続き堅調に拡大する米国経済が確認されました。

今回、伸びが加速した主な要因として、前期は暖冬や税還付の遅れなど一時的な要因から伸びが鈍化した個人消費が回復したことや、中国など新興国経済の回復を背景に輸出が拡大したことなど、内外需ともに堅調だったことが挙げられます。また、住宅投資は6.8%減と3四半期ぶりのマイナスとなったものの、前期が11.1%増と高い伸びだったことによる反動とみられています。

今回の結果は、FRB(米連邦準備制度理事会)による保有資産の縮小や年内の追加利上げなど金融引き締め路線を後押しするものとみられます。また、トランプ政権の政策遂行能力への懸念や米連邦政府の債務上限引き上げなど政治問題が米経済の先行き不透明感につながる可能性はあるものの、米国では引き続き堅調な雇用情勢が続いていることなどから、GDPの約7割を占める個人消費をけん引役に、緩やかな経済成長が続くと期待されます。

### 米国の実質GDP成長率における需要項目別寄与度



(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。